

## 「眼球あっせんに関する技術指針」の見直しについて

### ○これまでの見直し状況

平成12年 1月 7日:制定

平成14年12月 2日:一部改正

(「移植眼球組織取扱施設について」「眼球摘出の処置について」を改正)

平成22年 7月17日:一部改正

(改正臓器移植法に伴い、「眼球提供に係る承認手続きについて」等を改正)

### ○今回の議論内容

強角膜切片の摘出や角膜移植の技術の進歩に伴い、「眼球あっせんの技術指針」の検討が必要。

#### 1) 強角膜片の摘出(資料・2)

眼球摘出を行わず、強角膜切片を摘出する方法にはいくつかの方法があり、各アイバンクにより対応が異なる。また、現行の「眼球あっせんに関する技術指針」には明確な強角膜切片の摘出法の記載がないため、追記が必要。

#### 2) 移植用角膜切片の作成(資料・3)

角膜移植法が変遷する中、角膜内皮移植などが世界的に行われている。これらの移植法に対応するため、ドナー角膜の追加処置が必要となってきた。

特に、角膜内皮移植用の Pre-Cut 角膜は、我が国でも需要が高まってきており、そのため、Pre-Cut 角膜に関する指針の作成が必要。